

慶應義塾大学 2022年度
商学部 英語

I
[1]4
[2]2
[3]4
第1段落で、司法はdisagree on the virtues of diversity 「多様性の持つ利点を認めない」とされている。また、Corporations spend billions of dollars to attract and manage diversity (略) yet they still face discrimination lawsuitとあるので、企業が多様化を推進する一方で、企業による差別もなくならないと述べられている。4が適切。
[4]3
[5]3
[6]2
[7]2
第4段落で、informational diversityのわかりやすい例としてdiversity of disciplinary backgrounds = diversity of expertiseが挙げられている。2が適切。
[8]4
[9]1
第7段落の冒頭に、ビッグデータを用いた調査の限界として、その結果はあくまで多様性と業績に正の相関があることを示すにすぎず、因果関係を示すものではないということが述べられている。1が適切。
[10]3

II
[11]1
[12]3
[13]4
[14]3
[15]1
[16]2
[17]2
[18]1
文中で、rational thinkingは、整備工が、帰還した飛行機の弾痕に注目し、弾痕が集中している箇所を強化するべきだと考えたことを指している。1が適切。

[19]3
文中で、pivotal thinkingはWaldが帰還できなかった飛行機がどこに被弾したかに注目したことを指している。3が適切。

III (原文：
<https://www.nytimes.com/2021/02/18/world/europe/silbo-gomero-canary-islands.html>)
[20]3
[21]1
[22]1
[23]2
[24]1
varied landscapeには「高低差の激しい」という含意がある。また、gentleにあたる景観描写がないため1が適切。
[25]3
[26]4
[27]3
[28]4

IV
[29]3
[30]4
[31]1
[32]2
[33]1
[34]2
[35]1

V
[36]3
[37]2
[38]4
[39]3
[40]2
[41]4

VI
[42]4
[43]3

慶應義塾大学 2022年度
商学部 英語

[44]2

[45]1

文中では、「インフレ率と失業率はトレードオフの関係にあると考えられている」と述べられている。また、there is some lower boundary below which unemployment cannot safely be permitted to decline 「失業率がある閾値を超えて下がることはよくない結果をもたらす」と考えられている閾値が存在することがわかる。また、最後の文から、望ましいのはlow and stable inflation 「安定して低いインフレ率」であることがわかる。したがって、失業率が下がりすぎると、インフレ率が高くなりすぎてしまうのだと考えられるので、1が適切。

VII (原文：

<https://hbr.org/2020/11/how-apple-is-organized-for-innovation>)

[a]returned

[b]preventing

[c]laid

[d]retains

[e]evolving

[f]proves

VIII (原文：

<https://hbr.org/2021/07/the-science-of-strategic-business-writing>)

[a]products

[b]bath

[c]pleasure

[d]statement

[e]readers